

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 16 年 12 月 9 日 (2004.12.9)

【公表番号】特表 2001-503688 (P2001-503688A)

【公表日】平成 13 年 3 月 21 日 (2001.3.21)

【出願番号】特願 平 10-520422

【国際特許分類第 7 版】

B 4 2 F 1/02

F 1 6 B 5/00

【F I】

B 4 2 F 1/02 Z

F 1 6 B 5/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 3 月 1 日 (2004.3.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年3月 /日 /

特許庁長官 今 井 康 夫 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第520422号 ✓

2. 補正をする者

名称 ミネソタ マイニング/アンド マニュファクチャリング
カンパニー ✓

3. 代 理 人

住所 〒105-8423 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル
青和特許法律事務所 電話 03-5470-1900

氏名 弁理士(7751) 石 田 敬

方 式 査
方 式

4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲を別紙の通りに補正する。

7. 添付書類の目録

請求の範囲

1 通

請求の範囲

1. 接着クリップであって、
両側の前面及び後面を有する裏側シートと、
該裏側シートの該前面上の第1の着脱可能な感圧接着剤層と、
該裏側シートの該後面上の第2の着脱可能な感圧接着剤層と、
両側の第1縁及び第2縁を有するとともに、該前面上の該第1の着脱可能な感圧接着剤層を少なくとも覆うサイズを有して、被支持シートを支持する表側シートと、
該表側シートが該前面上の該第1の着脱可能な感圧接着剤層と重なった状態で、該表側シートの該第1縁を該裏側シートに取り付ける手段であって、該裏側シートが該第2の感圧接着剤層によって平らな支持体に接着されたときに、該表側シートと該第1の感圧接着剤層との間で被支持シートの縁部を位置決めでき、それにより該被支持シートの一部を押圧して、該第1の感圧接着剤層に係合させて支持させることができる距離だけ、該表側シートを該裏側シートから離れる方向に回動させることができるとともに、それに続いて該表側シートを該被支持シートから離れる方向に移動でき、それにより該被支持シートを該第1の感圧接着剤層から離れる方向に剥離して、該被支持シートを該接着クリップから取り外すことができるようにする手段と、
を備える接着クリップ。
2. 前記裏側シートが細長くかつ第1端を有してなる、請求項1に記載の接着クリップであって、前記裏側シートに沿って長手方向に間隔を置いて前記前面上にある複数の第1の着脱可能な感圧接着剤層と、両側の第1縁及び第2縁を有し、前記前面上の該第1の着脱可能な感圧接着剤層の1つを少なくとも覆うのに適したサイズを有する複数の表側シートと、それら表側シートの前記第1縁が前記裏側シートの前記第1端に隣接し、かつそれら表側シートの各々が前記前面上の前記着脱可能な感圧接着剤層のうちの異なる1つの層を覆う状態で、それら表側シートの第1縁を離間配置で前記裏側シートに取り付ける手段であって、前記裏側シートが前記第2の感圧接着剤層によって平らな支持体に接着されたときに、いずれか1つの該表側シートと前記第1の感圧接着剤層との間で被支持シートの

縁部を位置決めでき、それにより該被支持シートの縁部を押圧して、該第1の感圧接着剤層に係合させて該被支持シートを支持できる距離だけ、該表側シートを前記裏側シートから離れる方向に回動させることができるとともに、それに続いて前記表側シートを前記被支持シートから離れる方向に移動でき、それにより該被支持シートを前記第1の感圧接着剤層から離れる方向に剥離して、該被支持シートを該接着クリップから取り外すことができるようにする手段とを具備し、複数の被支持シートをこけら板状に重ねて保持するようになっている、請求項1に記載の接着クリップ。

3. 前記裏側シートに隣接する前記表側シートの面上に第3の着脱可能な感圧接着剤層を更に備える、請求項1に記載の接着クリップ。